

**第8回北海道広域化推進プラン策定に関する検討会
開催概要**

日 時 令和4年(2022年)9月1日(木)13時から14時40分

開催方法 第二水産ビル4G会議室及びWeb会議

出席者(敬称略)

【構成員】

宇野 二郎	座 長	北海道大学大学院公共政策学連携研究部教授
構口 学	構成員	木古内町建設水道課長
田中 治雄	構成員	旭川市水道局上下水道部水道施設課長
谷川 竜也	構成員	谷川竜也公認会計士事務所代表
西原口 高大	構成員	札幌市水道局総務部企画課長
原田 暢裕	構成員	中空知広域水道企業団企業局営業課長
松井 佳彦	構成員	北海道大学大学院工学研究院教授

【オブザーバー】

牛島 健	北海道立総合研究機構建築研究本部北方建築総合研究所地域研究部 地域システムグループ研究主幹
長坂 晶子	北海道立総合研究機構森林研究本部林業試験場森林環境部 環境グループ研究主幹
森野 祐助	北海道立総合研究機構産業技術環境研究本部 エネルギー・環境・地質研究所地域地質部沿岸・水資源グループ主査
永井 宏佳	北海道総合政策部地域行政局行政連携課課長補佐
金澤 直樹	北海道総合政策部地域行政局行政連携課連携係長

【事務局】

竹澤 祐幸	北海道環境生活部環境保全局長
名苗 拓央	同局環境政策課水道広域化推進室長
遠藤 浩	同課水道担当課長
深田 実昭	同課水道広域化推進室主幹
吉野 一	同課水道広域化推進室主幹
上野 洋一	同課課長補佐
鹿又 保春	同課水道広域化推進室主査
小峰 健一	同課水道広域化推進室主査
小椋 智世	同課水道広域化推進室技師

議題

北海道水道広域化推進プラン(仮称)に係るたたき台について

議事概要

1 開会

竹澤環境保全局長 挨拶

2 議題

北海道水道広域化推進プラン(仮称)に係るたたき台について 資料に基づき事務局から説明

○意見交換

<構口構成員>

- ・ P.17 に「水道の広域化のイメージ」があるが、図はわかりやすいので大きく示し、文章は細分化されると、各水道事業者が今後どのように進めていけば良いかわかりやすくなると思う。
- ・ 今後広域化の事務を進めていく上で、調査費の捻出が大変厳しいと思う。ソフト面の調査費に関わる財源措置があれば情報提供願いたい。また、なければ国への要望をしていくことも重要かと思う。
- ・ 今後の広域化に係る推進方針に当面の取組が記載されているが、首長レベルの協議会を開催し、認識してもらうことが重要かと思う。

<事務局>

- ・ ソフト面の補助制度については、現在確立した制度はない。他県からも調査費に係る補助が必要という話があがっているため、国へ要望できればと考えている。

<田中構成員>

- ・ ソフト連携シミュレーションの考察には、全ての項目について何かしら記載する方が良いかと思う。
- ・ 昨年度実施したソフト連携についてのアンケート調査結果を掲載した方が良いかと思う。
- ・ 広域連携の進め方について、具体例が載せてあると自治体がきっかけをつかみやすくなるかと思う。

<谷川構成員>

- ・ 企業債残高も資金残高と同様にグラフ化し、広域連携のメリットが出ると伝えた方がわかりやすいと思う。事実上、借金が出ることをもっと押し出しても良いと思う。
- ・ 本編と資料編で内容がリンクしているので、資料編何ページ参照と明記しても良いのでは。

<事務局>

- ・ 企業債残高のグラフ化等について、ご指摘のことを踏まえて検討したい。

<西原口構成員>

- ・ 推進方針にて、具体的にどこの地区から取り組むなどと書けなかったのか。

<事務局>

- ・ 各自治体と意見交換を通して、具体的な取組を載せたいと考えているが、連携するもの同士が合意の上で進めていくものでなければ、記載するのは難しいかと思う。プランの策定後も取組が進むよう地域の検討を深めていきたい。

<西原口構成員>

- ・プランを策定することによって、自分たちではどうしたら良いかわからなかった自治体が勇気づけられると思う。是非そのような自治体が新たな行動を起こしたり、これまでの行動を変えたりするきっかけとなれば良いと考える。

<原田構成員>

- ・プランのローリングについて、記載はないのか。
- ・ハード連携シミュレーションの記載について、各自治体に結果の説明をされたときより内容がトーンダウンしている印象。当初から変更したところはあるか。
- ・推進方針はあまり具体的でないと感じた。どこから取り組んでいくなど具体的な記載や道が主体的となって前に進めていくといった表現などがあると良いと思う。

<事務局>

- ・ローリングについては、内部で検討中のため記載できなかった。今後どうしていくかは検討したい。
- ・ハード連携シミュレーションの記載については、当初から変更はしていない。結果については、各自治体を個別に回った際、各自治体の計画や考え、将来の水需要など様々な状況が明らかになった。内部でも検討をし、将来の計画等がはっきり決まっており、プランに掲載することで影響が大きくなるものは掲載しないこととした。
- ・推進方針については、具体的な地域名を書きたかったが、現在踏み込んだ形までの記載には至っていない。

<松井構成員>

- ・計画らしいものが掲載されていないためタイトルからプランの名前を消すか、名前にプランを残すなら具体的な計画を記載した方が良いのでは。プランそのものではなく、プランの前段階の方針と資料という印象。
- ・地域の実情から反映できなかったというのは理解できるが、今まで地域連携を広範囲でやったことがないことも踏まえると、一定の条件下で算定した結果が重要である。一部のデータや資料が不足していることを理由に今までのシミュレーション結果がプランに反映されていないのは残念。

<事務局>

- ・将来的な水需要や計画が決まっているものはシミュレーションとはいえ、示すのは困難であった。

<松井構成員>

- ・計画で決まっていたとしても、あくまでも一定の条件による連携の効果を示すだけのことであり、計画と違うから掲載しないと申し出ると、何も広域連携は進まなくなるのでは。

<事務局>

- ・ハード連携の機運が醸成される地域であればいいが、異なる計画がある場合は、掲載は難しいと判断した。
- ・自治体から様々な意見をいただくと、広域連携について、検討してこなかった自治体もあることがわかった。そのような自治体のきっかけとなれば考えている。

<松井構成員>

- ・当事者でない道はプランを作れないため、あくまで考え方を掲載すると謳うことはできないのか。また、プランとして、当事者も納得しないと掲載ができないのならば、道として固執したものではないと前置き

の上、考え方の例・シミュレーション結果を示すことはできないか。

<事務局>

- ・ハード連携シミュレーションは、将来の水需要が落ちていき、その浄水場の余力を使って集約することが前提となっている。自治体からは、自治体内で別の浄水場の給水区域や未普及地域を吸収する、専用水道でやっていた企業が水道に入る、営農用水のため酪農に使用している水量は減少しないといった意見があり、浄水場の余力が発生しない場合があった。これらは前提と異なるため、そもそも抽出ができない状況であった。

<松井構成員>

- ・（今、説明された内容は）重要な点だと思うので、プランに記載したら良いのでは。
- ・プラン内の図表が概念、仮想的なシミュレーション、具体的な事例（全道合計・地域の値）などの内、何を示しているのかわかりにくかった。
- ・経営シミュレーションで、ハード連携のみの効果を反映した結果が示されているが、R10からソフト連携の効果を反映する前提であれば、ソフト+ハードの連携効果を掲載するべきでは。
- ・結果を見ると、全連携効果を反映した場合の次に効果が良かったのは、ソフト連携効果を反映した場合であり、ハード連携の効果がないと伝わってしまうのでは。
- ・給水原価は料金改定をしなかった場合の数値だと思うが、普通何も対策しないことはないのでは。この前提で資金残高が出ると記載するのもどうかと思う。

<事務局>

- ・記載について検討したい。

<宇野座長>

- ・経営シミュレーションについて、結果をどう読み取れば良いのかわからないため、記載の方法を検討してほしい。
- ・グラフ結果を見ると、広域連携を行っても大した効果は得られないと誰もが思うと考えるが、自分の（支払う）料金に置き換えてみるとそれなりに値上がりの幅が少なくなることから、生活実感に合うような議論をしてもらった方が良くと思う。
- ・その意味では、自分事と考えるためにはR10、R20など中期的な期間でも示したら良いのでは。
- ・アンケートやヒアリング結果も重要な情報であり、可能であれば検討の過程だけでなく、その後道で調査したことや、匿名になると思うが、この検討会や地区別検討会議での意見を掲載することも検討してほしい。
- ・推進方針の前書きの位置付けがよくわからなかったため、はじめに道の基本方針としてどう考えているのか示すことを検討してほしい。
- ・「ますます厳しい状況となることが見込まれています。」と書かれているが、ここまでの結果をもっと活用しながら書いた方が良くと思う。どの程度厳しいのか検討した結果を盛り込み書いてほしい。
- ・シミュレーションの結果としては、各考察に重要なポイントが書かれているが、各考察は検討した全ての項目について触れた上で、推進方針で道として取り上げていく重要な項目をあげていく方が良く思う。現状、推進方針だけでは、何を検討していけば良いのかわからない。
- ・推進方針の内容をソフトとハードで変えているが、よく読まなければ違いがわからないため、ポイントを整理し、わかりやすく示してほしい。
- ・シミュレーションで実施したことのみを取り上げるのではなく、道の方針として、地域の実情を踏まえる

ことが何より重要であることや未普及地域などの問題があるなら域内の統合を推進していくことも打ち出せると思うので、そのような内容にも触れて良いのではと思う。

- ・どこの地域で何をやるというのは、合意がないと書けないことだと思うが、これから検討するに当たって、何を考えなければならないのか、特に道として何がおすすめなのかということは書けるのではと思う。

<西原口構成員>

- ・推進プランには、各水道事業者が自分たちの課題を解決するため、どのように近隣の事業体と連携しようという気持ちにさせるか書かれてくると思っている。道がシミュレーション例を示すことによって、各水道事業者が行動を起こすきっかけを与えることとなると思う。
- ・一定の条件で行ったシミュレーションの次の一步として、特定の地域で具体的なシミュレーションに取り組むことなどが記載されると、ステップアップにつながると考える。
- ・ある特定の地域について、より詳細な検討を行うとだけでも書けないのか。

<事務局>

- ・その思いは推進方針の2(2)に「詳細な広域連携の検討」と入れている。具体的な地域名を入れることは難しいところがあるが、検討させてほしい。

<宇野座長>

- ・「詳細な広域連携の検討」という一語から思いを汲み取ることが難しいため、一文程度にしてもらえるとわかりやすいと思う。

<西原口構成員>

- ・道に何から何までやってもらうのではなく、自分たちで課題を見つけ、検討するのは自分たちだと思っている。やりたいと思っているが、マンパワーやお金が足りない地域は道に協力してもらおうとしても、まずはきっかけづくりとして何をすべきかが記載されるプランになると良い。

<谷川構成員>

- ・資料編P.38の圏域別流動比率で宗谷圏域の数字が異常に大きいため、確認する必要があると思う。

<構成員>

- ・地域ごとに条件が変わってくるため、全道のプランで方向性を示すのは難しいと思う。
- ・資料編に地域ごとの効果額が記載されているが、今後地域がどのくらいの気概を持ってやっていくかが重要だと思う。

<松井構成員>

- ・その点では、経営シミュレーションの結果が全て全道合計となっているが、せっかく地区別を算定しているならば、そちらを掲載した方が良いのでは。

<宇野座長>

- ・個別よりも地区別の扱いをどうすべきかもう少し検討した方が良いと思う。
- ・地区別検討会議を開催しないとわからないかと思うが、地区別の課題と方針が記載されても良いかと思う。